

# 科目名 放射線安全管理学実験

1 単位 30 時間 夜間部 3 年 前・後期 担当講師 大谷 浩樹、井上 一雅、梅沢 修一

## 教育目標

診療放射線技師が中心的役割を果たすべき放射線安全管理業務のうち、放射線使用施設の管理および維持に必要な技術を習得する。

使用教材 プリント

1 クラス 班の構成 6 班 班あたりの学生数 4～5 名

授業 1 回あたり 実験班（実験室）：2 班 演習班（教室）：2 班

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 出欠、実験・演習態度および提出レポート

## 授業概要（前・後期）

- 項目 1 サーベイメータの校正と距離逆二乗則
- 項目 2 サーベイメータを用いた放射線量の測定
- 項目 3 防護用品の遮へい効果と鉛当量の測定
- 項目 4 表面汚染密度の測定
- 項目 5 空气中RI濃度の測定
- 項目 6 水中RI濃度の測定

以上の項目をローテーションにより行う。

前期 1 3 回、後期 7 回

## 【実務経験】

診療放射線技師として国立病院等に 6 年間勤務し、その後大学教員として教授すると同時に都立病院等で診療放射線技師および医学物理士として非常勤で 24 年間勤務した。その実務経験をもとに放射線安全管理について教授します。 (大谷)

診療放射線技師として非密封放射性同位元素を用いた検査および放射線管理業務を 5 年間担当。また、研究機関において第一種放射線取扱主任者として監督および指導を 8 年間担当。医療機関および研究機関での実務経験をもとに放射線安全管理について話をします。 (井上)

診療放射線技師として総合病院、健診施設に 19 年間勤務。とくに放射線治療については、放射線取扱主任者として管理運営をしてきました。放射線取扱主任者としての実務経験をもとに、放射線安全管理学についてわかりやすく話します。 (梅沢)